

2023年8月1日～2024年3月31日の間に 当院において手術後バルーンインジェクターもしくはPCAポンプに よる疼痛コントロールを受けられた方及びご家族の方へ

「川崎医科大学総合医療センター術後疼痛管理チーム(POPS)の活動報告」

へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学総合医療センター 薬剤部 薬剤師 河本 純平
研究分担者 川崎医科大学総合医療センター 薬剤部 薬剤師 藤原 真亜子
川崎医科大学総合医療センター 薬剤部 主任 安尾 哲郎
川崎医科大学総合医療センター 薬剤部 部長 監物 英男
川崎医科大学総合医療センター 看護部 副主任 小原 久美子
川崎医科大学総合医療センター MEセンター 臨床工学技士 布野 潤一
川崎医科大学総合医療センター MEセンター 臨床工学技士 大森 良人
川崎医科大学総合医療センター 麻酔科・集中治療科部長 大橋 一郎

1. 研究の概要

手術後の痛みが長引くと離床の妨げとなり、術後合併症の発生率増加や在院日数の延長につながることで指摘されています。手術後の痛み(術後疼痛)の管理をチームで介入することにより患者様のQOL向上、術後合併症の減少、在院日数の短縮などの効果が報告されていることから、当院においても2023年より麻酔科医および所定の研修を受講した手術室看護師、薬剤師、臨床工学技士がチームとなり対象の患者様に対して術後疼痛管理の介入を開始しました。今回の研究はチームが介入した方々の手術の内容や痛みのコントロールのために使用した薬剤などを調査します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年8月1日～2024年3月31日の間に川崎医科大学総合医療センターにおいて手術後にバルーンインジェクターもしくはPCAポンプを使用して手術後の痛みのコントロールを行われた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年4月1日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において手術後にバルーンインジェクターもしくは PCA ポンプを用いて痛みのコントロールを行われた方で、年齢、性別、診療科、使用した鎮痛薬、手術後の吐き気の有無、鎮痛薬によるものと思われる副作用の有無、NRS（患者さん自身が評価する痛みの程度）、鎮痛薬の使用期間、チームから主治医への提案内容、入院期間を電子カルテを用いて調査し、POPS 介入の現状を調査します。

4) 使用する情報・種類

年齢、性別、手術内容、手術後に使用した鎮痛剤、副作用等の発生状況 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学総合医療センター薬剤部内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025 年 1 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 薬剤部

氏名：河本純平

TEL：086-225-2111 内線 80301（平日：8時30分～17時00分）

FAX：086-232-8343

E-mail：j.koumoto@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究において、資金の受け入れ及び使用はありません。